

# 旧広島陸軍被服支廠の安全対策等の対応方針に係る 意見募集について(報告)

〔 令和2年2月3日  
総務局財産管理課 〕

## 1 要旨

令和元年12月4日に公表した『旧広島陸軍被服支廠に係る安全対策等の対応方針』について、広く意見を聞くために実施したパブリックコメントの結果について報告する。

## 2 実施期間

令和元年12月17日(火)～令和2年1月16日(木)

## 3 設問概要

- ・回答者の属性(年齢, 居住地, 旧広島陸軍被服支廠について知った時期)
- ・広島県の方針について(県の方針に賛同するかどうか, またその理由)
- ・保存した場合の活用方法について
- ・自由意見

## 4 結果

(1) 件数 2, 444件

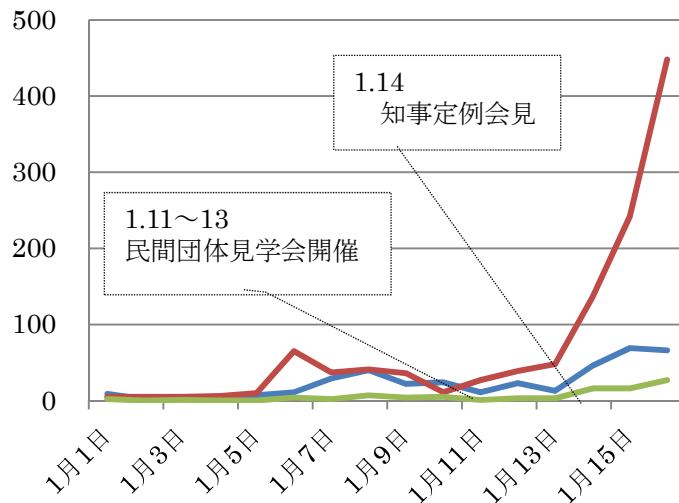
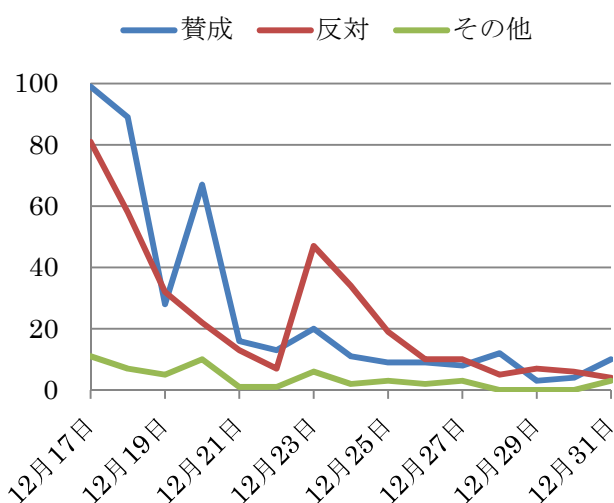
(2) 内訳

○広島県の方針についての賛否

賛成	反対	その他	計
779	1,520	145	2,444

※選択回答欄及び記入欄が一言一句同一の意見は、件数から除いた。(361件)

## 5 回答の動向



(1) 自由意見欄に記入された、保存棟数により分類

(例) 反対者の意見欄にある「全棟解体が良い」は全棟解体へ  
 賛成者の意見にある「全棟解体して欲しい」は全棟解体へ  
 また、「解体しても2棟は残して欲しい」という記載があるものは2棟保存とした。

賛成	779 件→1 棟保存 739 件, 全棟解体 40 件
反対	1,520 件→3 棟保存 1,494 件, 2 棟保存 3 件, 全棟解体 22 件, その他 1 件
その他	145 件→2 棟保存 : 3 件, 全棟解体 67 件, その他 75 件

(2) 保存棟数別の集計

区分	3 棟保存	一部解体を容認				その他※	計	
		2 棟保存	1 棟保存	全棟解体	小計			
全 体	1,494 61.1%	6 0.3%	739 30.2%	129 5.3%	874 35.8%	76 3.1%	2,444	
住 ま い 別	広島市内	710 52.6%	5 0.4%	513 38.0%	89 6.6%	607 45.0%	32 2.4%	1,349
	広島県内	323 55.4%	0 0.0%	200 34.3%	36 6.2%	236 40.5%	24 4.1%	583
	広島県外	460 90.0%	1 0.2%	26 5.1%	4 0.8%	31 6.1%	20 3.9%	511
年 齢 別	20 歳未満	44 59.5%	0 0.0%	28 37.8%	1 1.4%	29 39.2%	1 1.4%	74
	20 代	114 52.8%	1 0.5%	90 41.6%	5 2.3%	96 44.4%	6 2.8%	216
	30 代	152 55.3%	2 0.7%	92 33.5%	17 6.2%	111 40.4%	12 4.4%	275
	40 代	324 55.6%	1 0.2%	206 35.3%	24 4.1%	231 39.6%	28 4.8%	583
	50 代	369 65.5%	1 0.2%	149 26.5%	29 5.1%	179 31.8%	15 2.7%	563
	60 代	312 69.8%	1 0.2%	96 21.5%	31 6.9%	128 28.6%	7 1.6%	447
	70 代以上	176 62.2%	0 0.0%	78 27.5%	22 7.8%	100 35.3%	7 2.5%	283

未記入の回答があり、住まい別、年齢別区分の数値は完全一致しない。

※その他の記述は、具体的棟数の記述がないもの

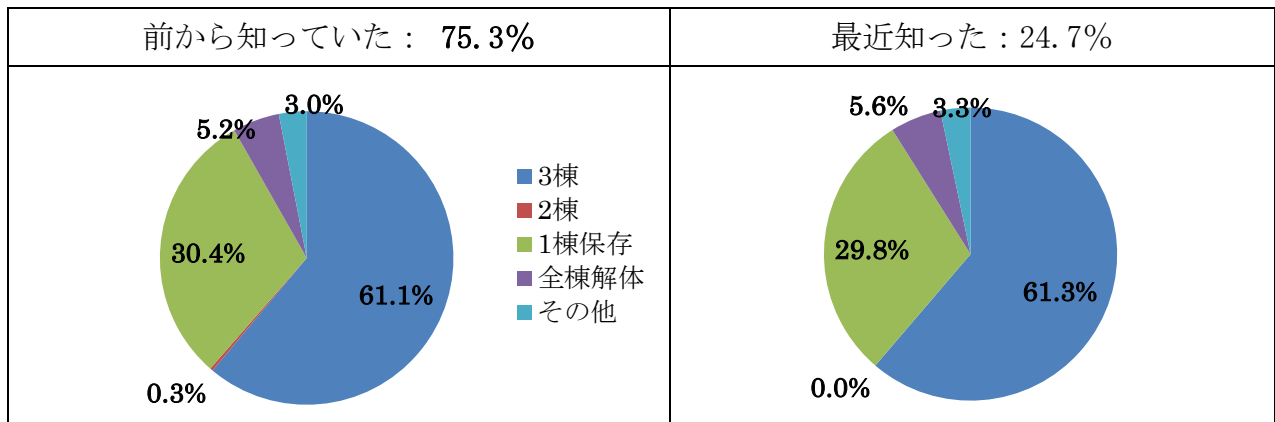
(例)

- ・「県の方針に従う」という記述
- ・「寄附を集めて可能な限り残して欲しい」という記述
- ・「市に譲渡してはどうか」という記述

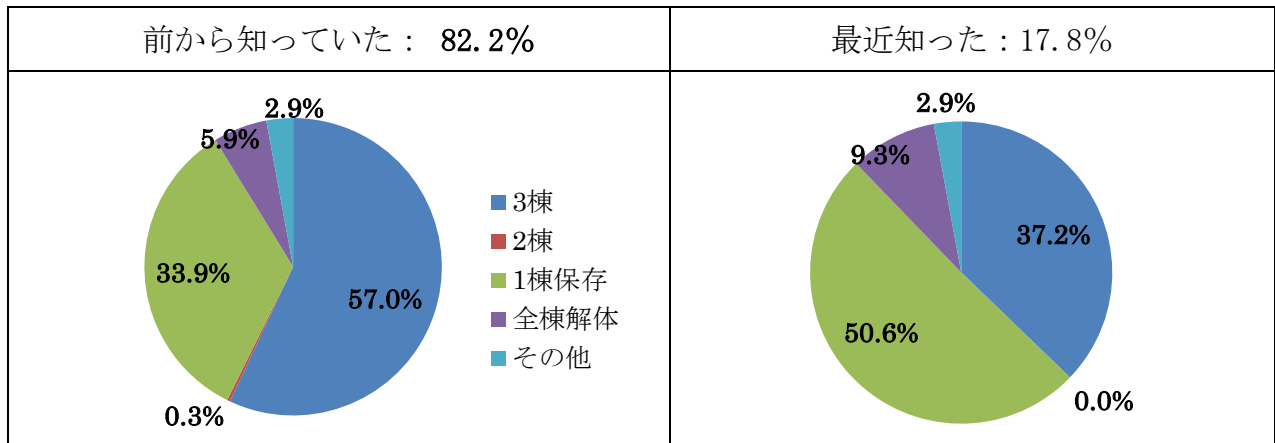
【各設問に係る回答状況】

1 意見募集の回答者と旧被服支廠のかかわりなどについて

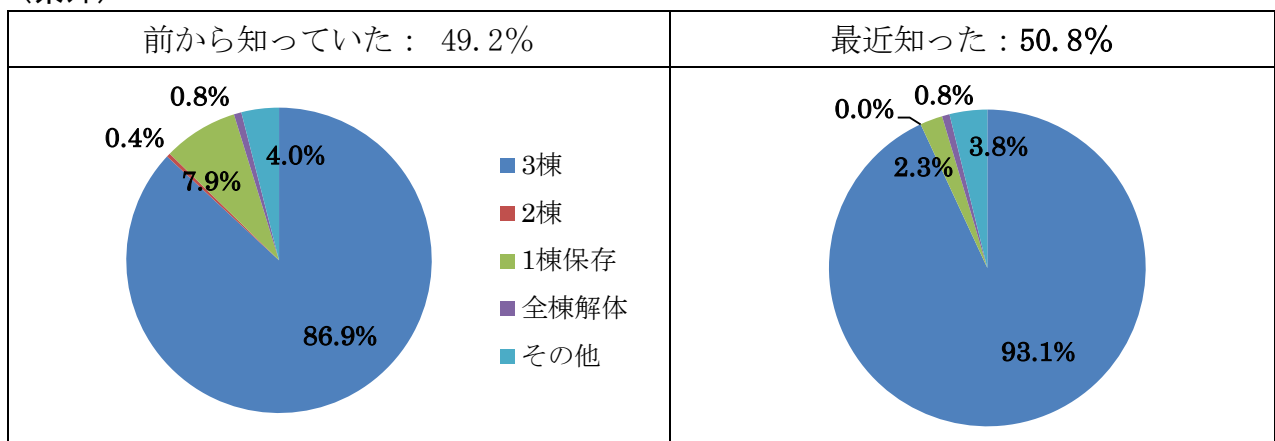
○ 旧被服支廠について、いつ知りましたか。  
(全体)



(県内)



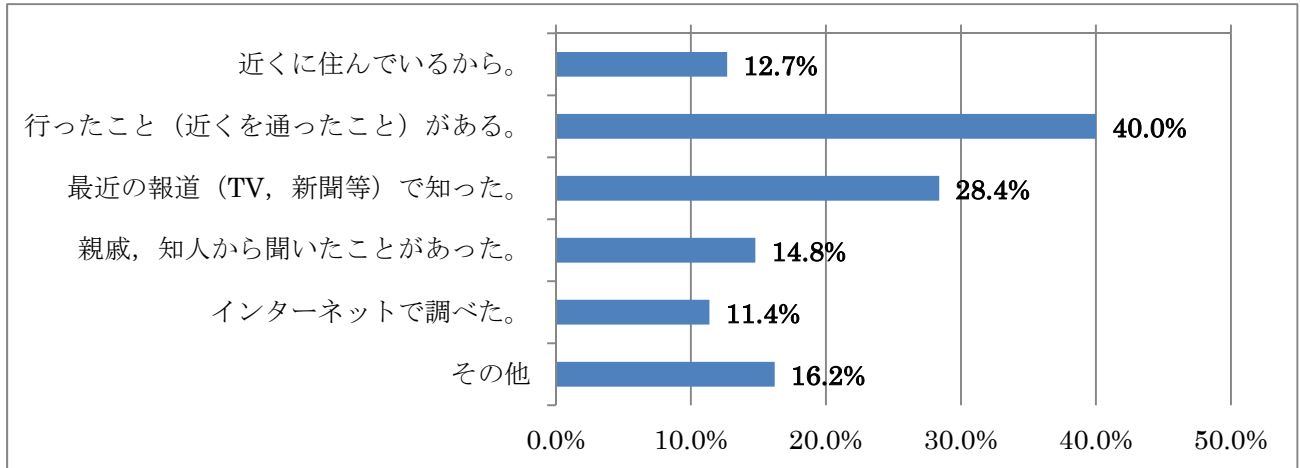
(県外)



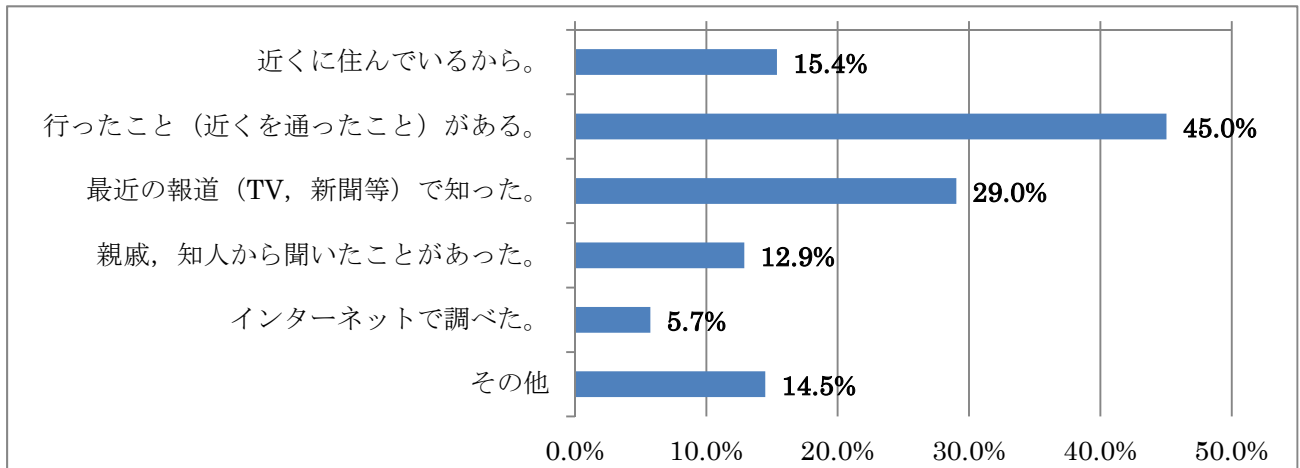
県内からの回答は、前から知っていた人が8割以上で、最近知った人は2割未満であった。また、前から知っていた人の約6割が全棟保存に対し、最近知った人の6割以上が一部解体を容認するという意見であった。

県外からの回答は、県内の回答者の8割以上が前から知っていたのに対し、最近知った人が約5割であった。保存割合については、いずれも全棟保存が約9割という意見であった。

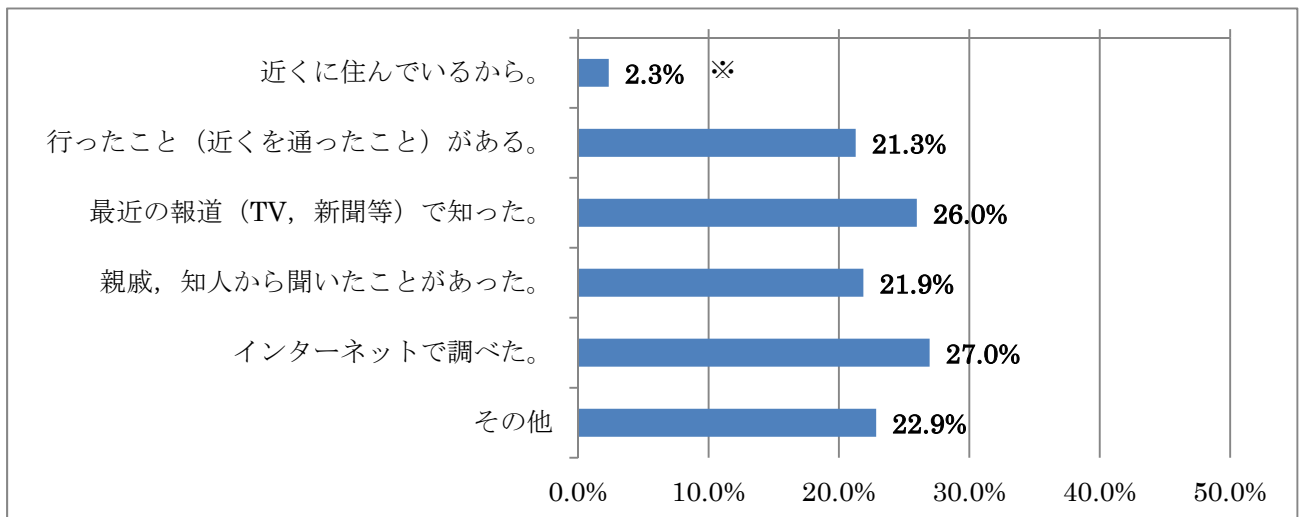
○ 何で知りましたか。(複数回答)  
(全体)



(県内)



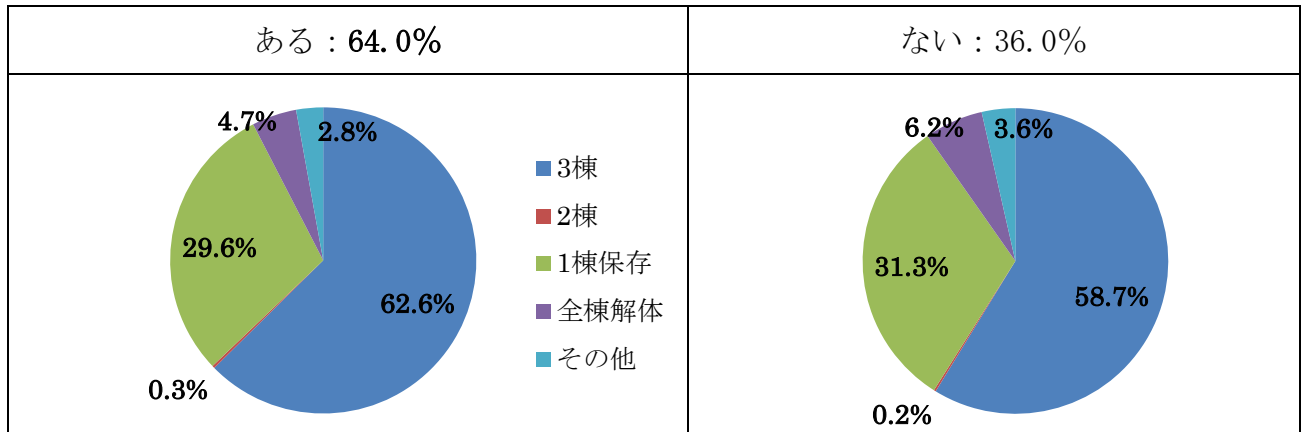
(県外)



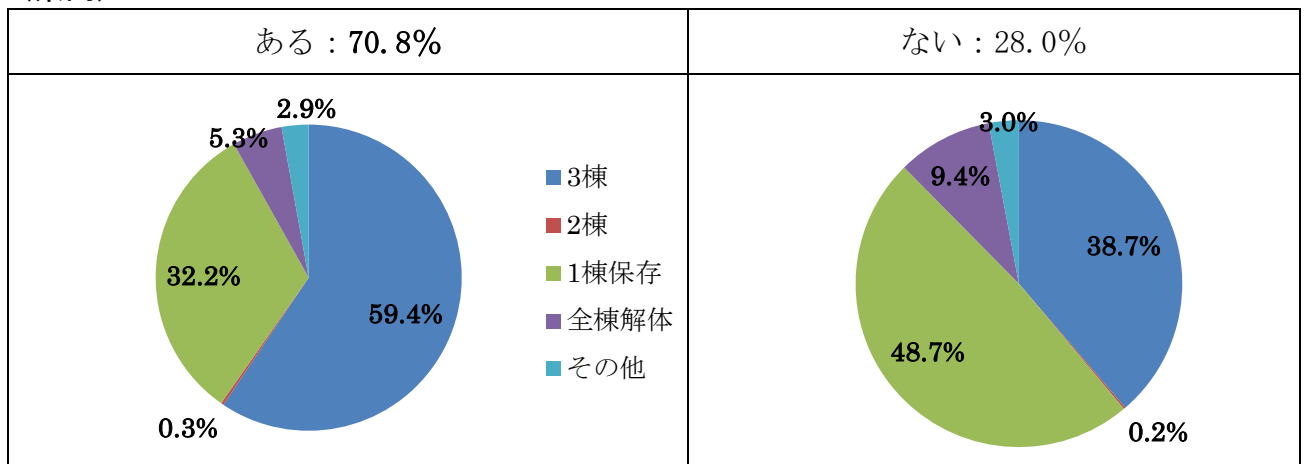
県内は「行ったことがある」という回答が多いのに対し、県外は、「最近の報道」や「インターネット」により知ったという回答が多かった。

※県外で、「近くに住んでいるから」と選択しているものは、選択誤りと思われる。

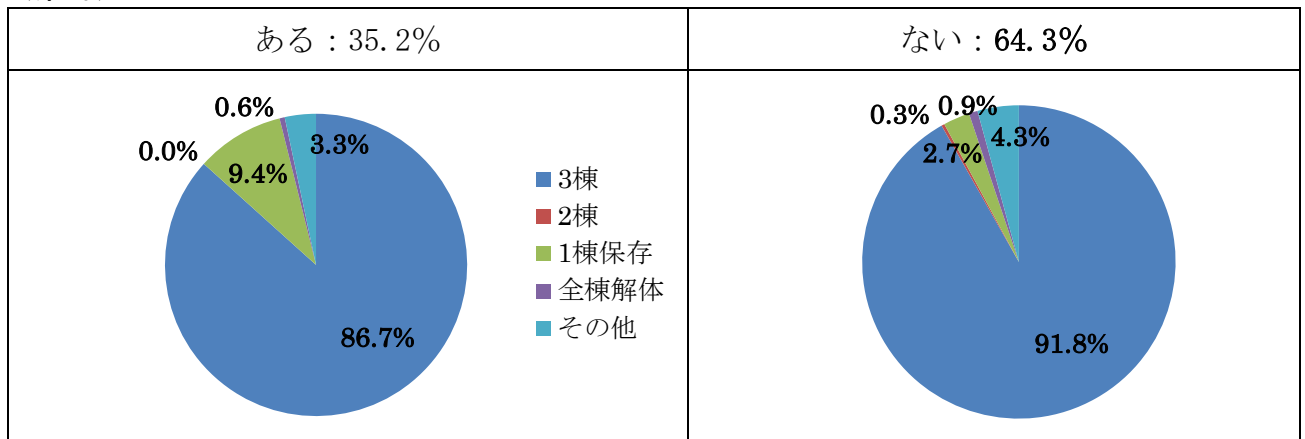
○ 旧被服支廠を現地でご覧になったことがありますか。  
(全体)



(県内)



(県外)



県内からの回答の約7割が現地に行ったことがあります、行ったことがない人は3割未満であった。現地に行ったことのある人の全棟保存という意見が約6割あるのに対し、行ったことがない人の約6割が一部解体を容認という意見であった。

県外からの回答は、現地に行ったことがある人は4割未満にとどまり、行ったことがない人が6割以上であった。

また、現地に行ったことがあらず、約9割が全棟保存の意見であった。

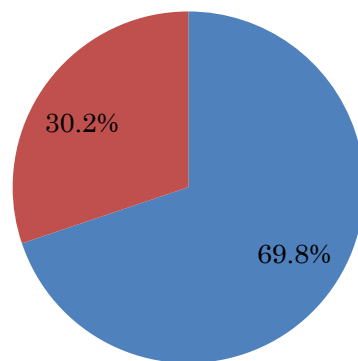
【参考：県民からの回答のみの集計】

○ 回答者の割合

県内でも広島市内の関心が高く、県全体でみると、広島市外からの回答は約3割であった。

広島市内	1, 349
広島県内	583

■ 広島市内  
■ 広島県内

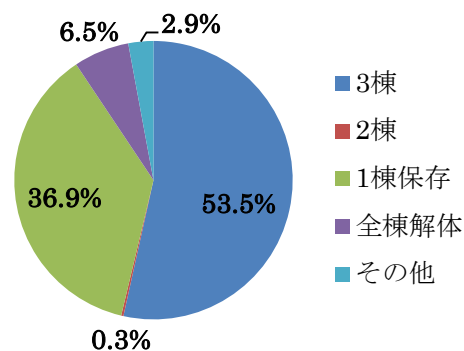


○ 保存棟数の割合

区分	3棟保存	一部解体を容認				その他	計
		2棟保存	1棟保存	全棟解体	小計		
全体	1,034	5	713	125	843	56	1,932
	53.5%	0.2%	36.9%	6.5%	43.6%	2.9%	
広島市内	710	5	513	89	607	32	1,349
	52.6%	0.4%	38.0%	6.6%	45.0%	2.4%	
広島県内	323	0	200	36	236	24	583
	55.4%	0.0%	34.3%	6.2%	40.5%	4.1%	

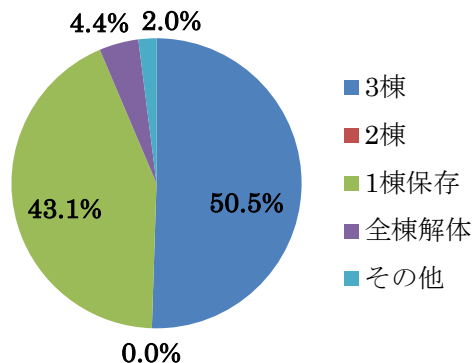
3棟全棟残して欲しいという回答  
53.5%

一部解体はやむを得ないという回答  
43.6%

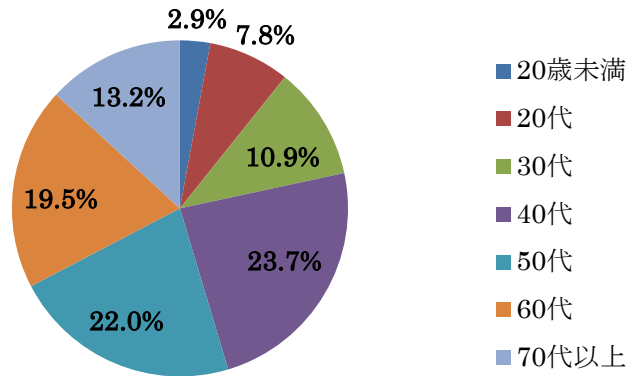


○ 「近くに住んでいる」を選択している方の回答

3棟保存	2棟保存	1棟保存	全棟解体	その他	計
150	0	128	13	6	297
50.5%	0.0%	43.1%	4.4%	2.0%	



○ 年齢別



区分	3棟保存	一部解体を容認				その他	計
		2棟保存	1棟保存	全棟解体	小計		
20歳未満	27 48.2%	0 0.0%	27 48.2%	1 1.8%	28 50.0%	1 1.8%	56
20代	54 35.8%	1 0.7%	88 58.3%	4 2.6%	93 61.6%	4 2.6%	151
30代	97 46.2%	1 0.5%	90 42.9%	15 7.1%	106 50.5%	7 3.3%	210
40代	215 46.9%	1 0.2%	198 43.2%	24 5.3%	223 48.7%	20 4.4%	458
50代	239 56.4%	1 0.2%	144 34.0%	29 6.8%	174 41.0%	11 2.6%	424
60代	247 65.7%	1 0.3%	90 23.9%	30 8.0%	121 32.2%	8 2.1%	376
70代以上	151 59.4%	0 0.0%	76 29.9%	22 8.7%	98 38.6%	5 2.0%	254

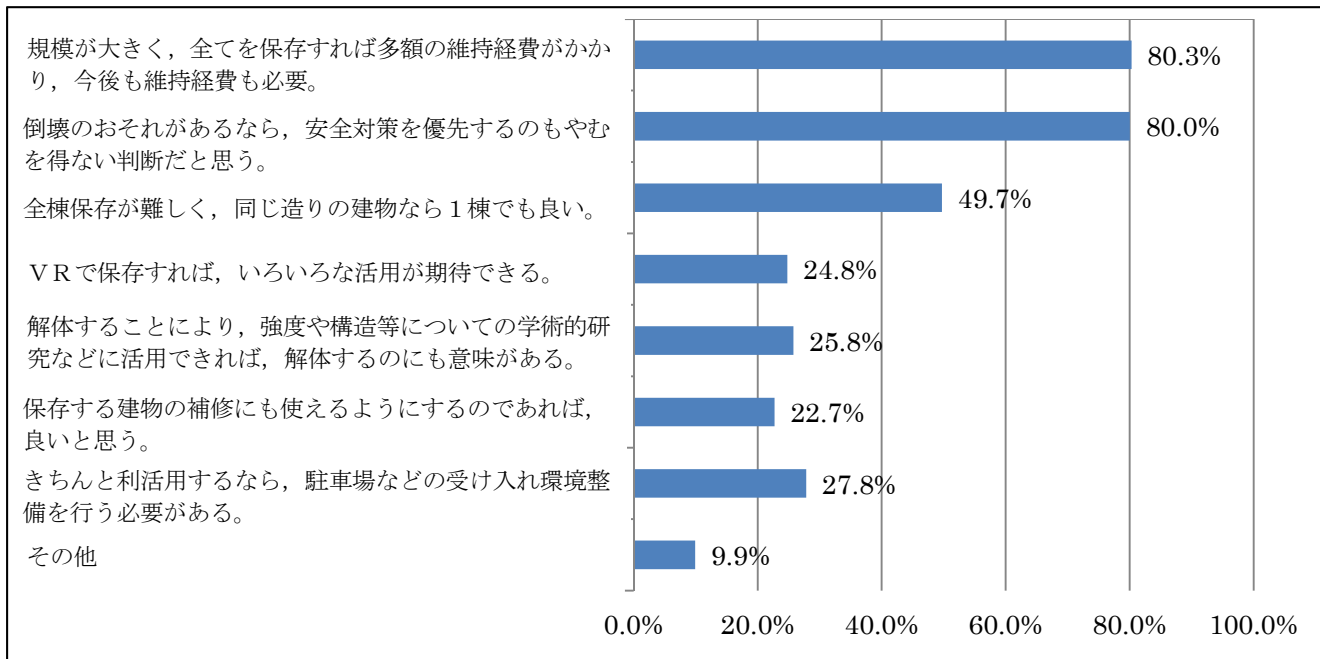
全体の回答では、6割以上が3棟保存という意見であったが、県民からの回答の集計では53.5%、広島市内では52.6%、近くに住んでいるという方では50.5%と旧被服支廠の所在地に近くなるにつれ、差が均衡している。

また、年齢別の内訳では、全体の回答ではどの年代も3棟保存が過半数であったが、県民からの回答の集計では、50代未満で3棟保存より一部解体を容認する割合が高くなっている。

## 2 県の方針に対する賛否の理由等について

### (1) 1棟保存(県の方針に賛成)の方

○「県が安全対策を実施する対応方針(1棟のみ保存, 2棟解体)についてどう思いますか。」という問いに対し、賛成と回答した方にお聞きした賛成理由(複数選択方式)



○ 賛成の方が賛成理由の「その他の意見欄」及び「自由意見欄」に記入されていた意見

- 1 費用の観点からの意見
- 2 被爆建物としての観点からの意見
- 3 安全対策の観点からの意見

#### 1 費用の観点からの意見

- ・ 全棟保存は財政負担が大きすぎる。
- ・ 保存工事のための費用に加えて、今後も維持経費が掛かり続ける。
- ・ 全棟保存を望む人が、保存費用を工面すべきである。(クラウドファンディング, 寄附等。)
- ・ 同じ経費なら他の施策に使うべきである。

#### 2 被爆建物としての観点からの意見

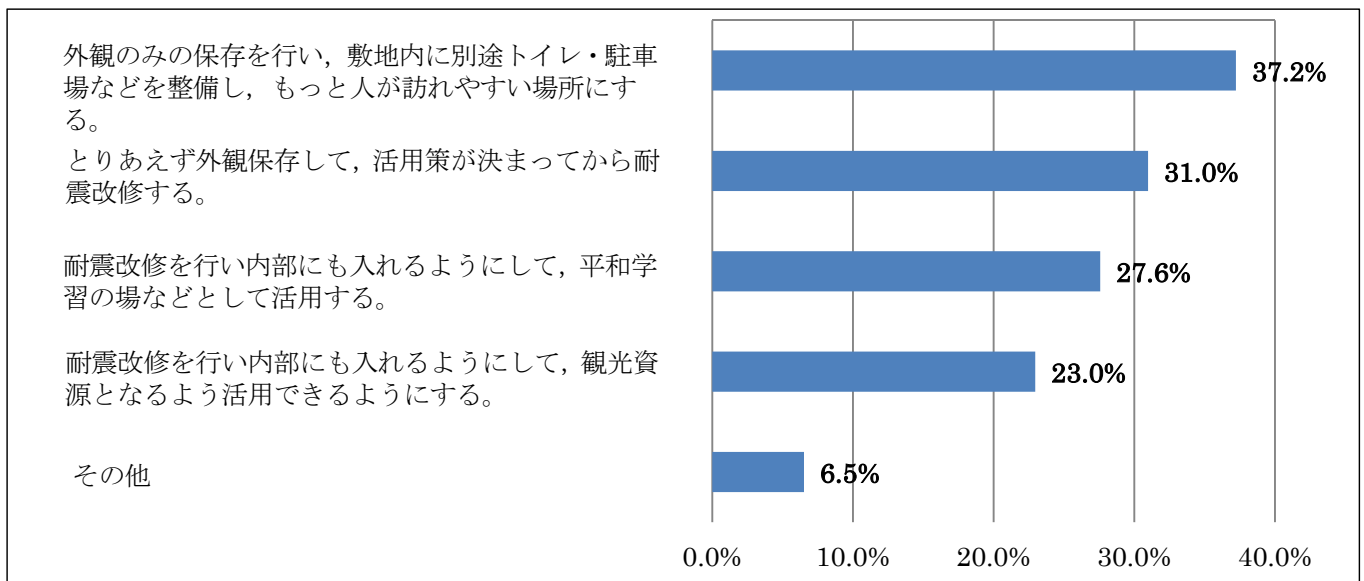
- ・ 被爆建物だからといって全てを残す必要はない。
- ・ 1棟あれば被爆建物の価値を残すには十分である。
- ・ 人々に見られて、初めて平和を訴える建物になる。
- ・ 平和学習や核廃絶に必ずしも被爆建物は必要ない。

#### 3 安全対策の観点からの意見

- ・ 安全対策は行政が実施すべき最低限の責任である。
- ・ 早急に安全対策を実施すべきである。
- ・ 安全対策を実施することも平和に繋がる。



○「今後旧被服支廠を保存した場合に、どのように活用していくのが良いと思いますか。」という問いに対し、賛成と回答した方が選択した活用策（複数選択方式）



○ 賛成の方が活用策の「その他の意見欄」に記入されていた意見

- 1 立地の観点からの意見
- 2 残すのであれば、活用できる施設にという意見
- 3 費用負担などを考慮した観点からの意見

#### 1 立地の観点からの意見

- ・ 他都市のレンガ建物のように景観とセットになった立地ではない。
- ・ 立地が悪く、観光施設にはならない。

#### 2 残すのであれば、活用できる施設にという意見

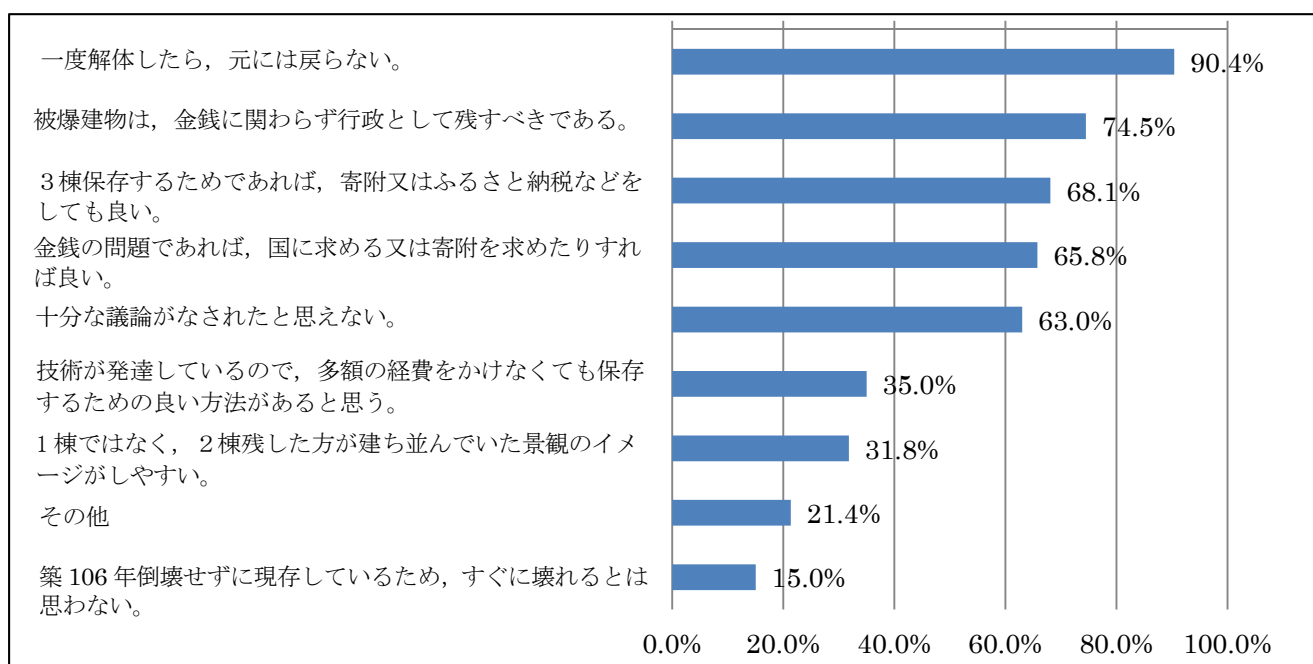
- ・ 保存するのであれば、今後多くの人に訪れてもらうようにする必要がある。
- ・ 1棟のみを保存し、VR技術を用いるなどにより平和学習の場として活用する。
- ・ 今後も保存にお金が必要となるため、建物を活用して保存費用を捻出すべきである。

#### 3 費用負担などを考慮した観点からの意見

- ・ 活用策が決まるまでは、とりあえず外観保存すれば良い。
- ・ 外観保存し、内部は写真・映像等で見られるようにしておけば良い。
- ・ 広島市に譲渡して、活用してもらえば良い。

## (2) 全棟保存（県の方針に反対）の方

○「県が安全対策を実施する対応方針(1棟のみ保存, 2棟解体)についてどう思いますか。」という問いに対し、反対と回答した方にお聞きした反対理由（複数選択方式）



○ 反対の方が反対理由の「その他の意見欄」及び「自由意見欄」に記入されていた意見

- 1 被爆建物及び歴史的価値を考えた意見
- 2 費用の観点からの意見
- 3 検討時間に係る意見

### 1 被爆建物及び歴史的価値を考えた意見

- ・ 被爆者が少なくなる中で、被爆建物は、長期的に被爆の恐ろしさを無言で伝える物である。
- ・ 広島が軍都であったことを示す貴重な歴史的建造物である。
- ・ 文化財・世界遺産として整備・保存すべきである。
- ・ 築100年以上で建築学的にも貴重な建物である。

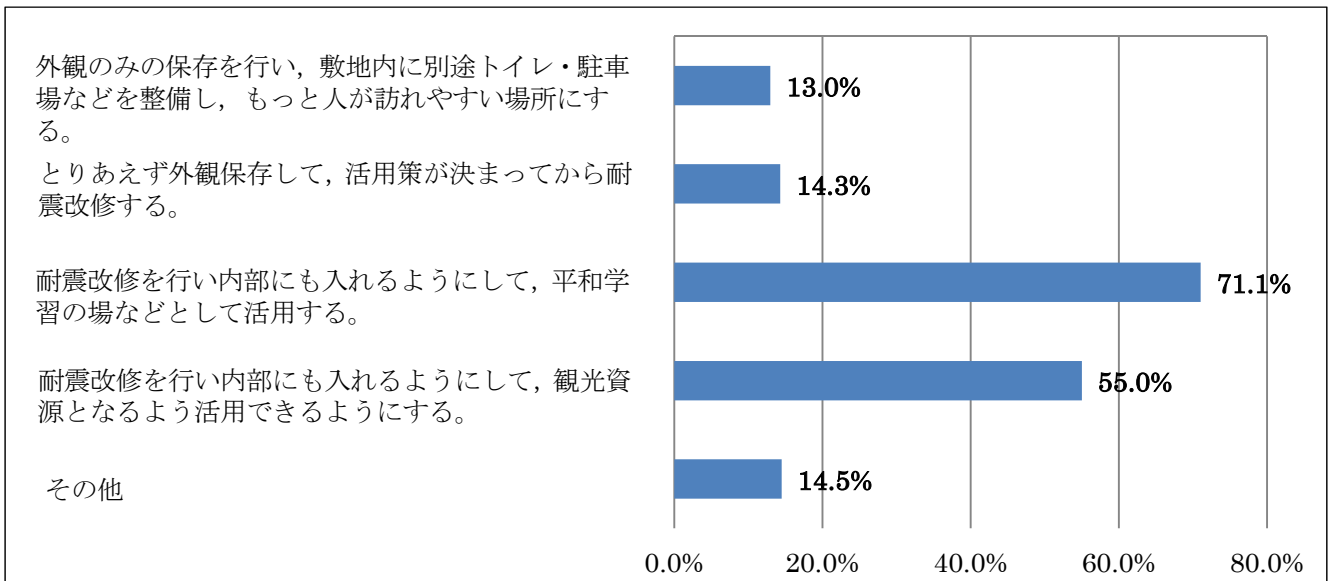
### 2 費用の観点からの意見

- ・ 他都市のレンガ倉庫のように商業施設として整備すれば、集客施設としても活用でき、保存費用も回収できる。
- ・ 他の施策より被爆建物の保存に費用をかけるべきである。
- ・ 保存費用はクラウドファンディングなどによる財源確保を検討すべきである。

### 3 検討時間に係る意見

- ・ 広域的かつ長期的視点で検討して欲しい。
- ・ 拙速に結論を出すべきではない。
- ・ 納得できるよう、時間をかけて議論すべきである。

○「今後旧被服支廠を保存した場合に、どのように活用していくのが良いと思いますか。」という問いに対し、反対と回答した方が選択した活用策（複数選択方式）



○ 反対の方が活用策の「その他の意見欄」に記入されていた意見

- 1 平和学習の場などで活用できる施設にという意見
- 2 観光施設等の活用とする意見

#### 1 平和学習の場などで活用できる施設にという意見

- ・ 原爆に関する絵や詩などを展示し、核や平和について考える場にする。
- ・ 原爆資料館の別館として資料の収蔵庫や展示場として活用する。
- ・ 耐震改修工事をして、中で平和学習ができる場とする。
- ・ 存在自体に価値があり、観光資源にする必要はない。
- ・ トイレや駐車場などの設備を整備し、平和学習が行える場として活用する。

#### 2 観光施設等の活用とする意見

- ・ 他の都市で活用されているレンガ倉庫のように、歴史を知る場・観光できる場にする。
- ・ 平和博物館など入館料を取れる観光施設として活用する。
- ・ 災害対応に必要な機材・食糧等の備蓄倉庫とする。

### (3) その他（賛成でも反対でもない）の方

「県が安全対策を実施する対応方針(1棟のみ保存, 2棟解体)についてどう思いますか。」という問いに対し、その他と回答した方が「その他意見欄」及び「自由意見欄」に記入されていた意見

1 検討が不十分で拙速な結論は出して欲しくないという意見

2 可能な範囲（必要な形）で保存をとという意見

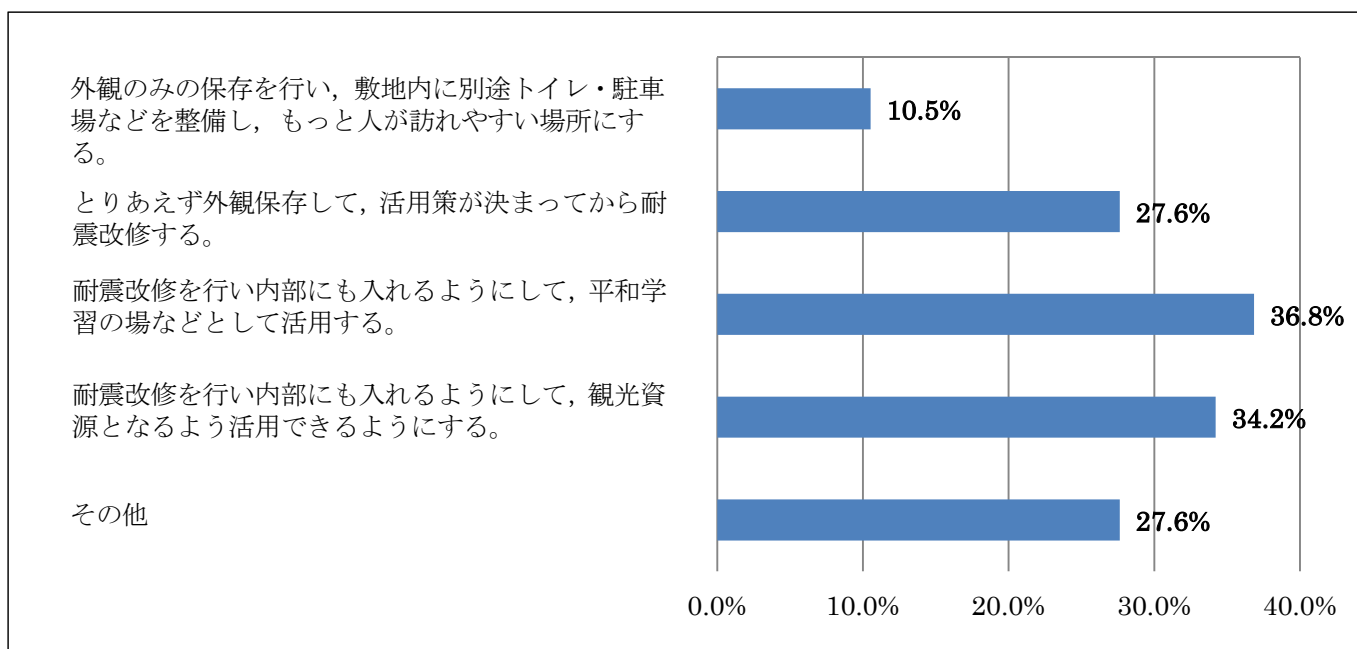
#### 1 検討が不十分で拙速な結論は出して欲しくないという意見

- ・クラウドファンディングなどで広く支援を求めるなどの財源確保の努力を行った上で、結論を出すべきである。
- ・関係者間の合意形成が不十分な状況である。
- ・活用方法を決めた上で、どの程度保存するかを考えるべきである。
- ・より多くの意見を聞き、十分な議論・検討を行うべきである。

#### 2 可能な範囲（必要な形）で保存をとという意見

- ・保存を希望する団体などによる募金により保存すべきである。
- ・活用方法を考えた上で保存を考えるべきである。
- ・内部も平和学習などの場として活用できる施設とし、可能な限り残すべきである。
- ・ふるさと納税などにより集まった金額に応じた保存方法とすべきである。

○「今後旧被服支廠を保存した場合に、どのように活用していくのが良いと思いますか。」という問いに対し、その他と回答した方が選択した活用策（複数選択方式）



○ その他の方が活用策の「その他の意見欄」に記入されていた意見

- 1 平和的観点からの活用の意見
- 2 費用を考慮した活用策の意見

### 1 平和的観点からの活用の意見

- ・ 被爆建物としての価値を効果的に後世に伝えるため、平和記念公園周辺などに一部を移設する。
- ・ 平和に関する美術展や映画上映など、平和資料館にはない方法で、平和を学習できる施設にする。
- ・ 取り壊す場合は、平和公園などに記念碑や煉瓦を使ったモニュメントを造るなど、違う形で保存する。

### 2 費用を考慮した活用策の意見

- ・ 多額の費用をかけず、1棟について外観を見学する施設として保存する。
- ・ 安全対策と全棟の外観の保存を行い、可能な範囲で耐震改修を行う。

### 3 その他

- ・ 民間に貸し出すなどし、人が集まり継続的に利用できる施設として長期的に保存する。
- ・ 被爆の実相を伝えるのは広島市の役割であり、被爆建物の保存は市が責任を持って対応すべきである。